

カンピくんと

まさに★えーる瓜田瑠梨ちゃんが案内する

下野市

って
こんなところ!

下野市は栃木県の中南部に位置するコンパクトシティ。その歴史は古く、古代の政治・文化の中心となり、下野薬師寺跡、下野国分寺跡などのみどころも多い。特産のかんぴょうのほか、グルメも魅力的だ。

下野市のことなら
わたしたちに
まかせて!



下野市の概要

人口: 5万9961人
(2016年4月末現在)

面積: 74.59km²
シンボル: 市木 (けやき)、
市花 (ゆうがお)、市鳥
(うぐいす)

誕生日: 2006年1月10日
(南河内町、石橋町、国分寺町が合併して誕生)



新旧のみどころが点在する 魅力的な街並みを散策!

P4 P15

JR宇都宮線の自治医大駅を中心としたニュータウンには、おしゃれなカフェやレストランが多い。小金井や石橋など、旧日光街道の宿場町の周囲に広がる緑の美しい田園地帯には、歴史あるみどころが点在。



④ 下野薬師寺跡に復元された回廊の一部
⑤ メルヘンの世界が広がる、グリムの森「グリムの館」も必見

歴史 雅な天平文化の 香りがいっぱい!

P4

8世紀には聖武天皇の詔によって、下野国分寺と下野国分尼寺が建立された。この地は古代東国地方の仏教文化の中心だったのだ。現在でも金堂や講堂などの壮大な伽藍配置がうかがえる。



下野国分寺跡は
必見よ!

グルメ スタイリッシュな洋食から、 麺類、コロッケも必食

P8 ~ P13



おしゃれなイタリアンやフレンチの名店は医大生たちで賑わう自治医大駅東側に数多い。このほか昔ながらの老舗の味や、田舎風うどんなども楽しみ。スイーツ自慢のカフェなども。



① 広大な敷地に広がる下野国分寺跡。礎石などが復元されている
② 下野市立しもつけ風土記の丘資料館に展示された下野国分寺・七重塔の20分の1スケールの模型



下野のかんぴょうは
おいしいよ!



特産品

かんぴょうをはじめとする 魅力的な下野ブランド

P6 P14

下野市はかんぴょうの名産地として知られ、その生産量は全国の52.9%を誇る。かんぴょうを使用したユニークな加工食品や、老舗の銘菓、下野鶏の照り焼きがのった「しもつけ丼」などをぜひ。みやげには下野ブランドがおすすめ。

☞下野市のみやげといえば、やっぱりかんぴょう。7～8月には削る前のユウガオの実（ふくべ）も手に入る



イベント

天平の芋煮会や花まつりのほか 四季折々のイベントがいっぱい

P16



年間を通してイベントや、伝統的な祭りなどが多いことも下野市の魅力だ。とくに桜の美しい春や、田園地帯が色づく11月頃には人気のイベントが目白押し。タイミングが合えばぜひとも参加してみよう。

☞かんぴょう入り芋汁3000食が作られる天平の芋煮会



☞3月下旬～5月上旬にかけて開催される天平の花まつり

暮らし

自治医大を中心とした 地域医療が充実していて安心

P17



☞自治医大周辺はおしゃれなニュータウン

下野市には自治医科大学附属病院をはじめとして、医療機関が地域にバランスよく立地している。人口1人当たりの医師数も全国でトップクラスを誇り、住民にとっては安心して暮らせる街。また豊かな自然環境が残され、自然災害が少ないことでも知られる。おまけに交通の便がよいことから住みやすい街として評判だ。あなたも下野市に引っ越したくなる!?

下野市の人気者たちをご紹介!

カンピくんは道の駅しもつけのイメージキャラクターとして誕生したマスコット。モチーフは下野市の花「ゆうがお」の実（ふくべ）。道の駅しもつけのほか、市内外の各種イベントに出発することがあるかも。見かけたら気軽に声をかけてみよう!

カンピくん



「まろに☆えーる」
瓜田瑠梨ちゃん



「まろに☆えーる」は、とちぎテレビがHPで配信している人気キャラクター。いちご大好きなユニットリーダー、宇都宮餃子屋の看板娘、かんぴょう屋の娘・瓜田瑠梨ちゃんが活躍する。かんぴょうの街・下野市の魅力をアピールしてくれるのは、もちろん瓜田瑠梨ちゃん!

©とちぎテレビ



通勤にも観光にも
便利なロケーション!
都心からの
アクセスも楽々

2015年3月、JR上野東京ラインが開業したことによって、東京駅や横浜・湘南エリアなどから、下野市へのアクセスがぐ〜んと楽になった。東京駅～小金井駅は上野東京ラインを使えば直通で約1時間30分、新宿駅～小金井駅は湘南新宿ライン快速で約1時間20分。